

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公表番号】特表 2018-537249 (P2018-537249A)

【公表日】平成 30 年 12 月 20 日 (2018.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-049

【出願番号】特願 2018-547254 (P2018-547254)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 18 日 (2019.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

食道内の圧入された食物の塊を取り除くように構成されているデバイスであって、前記デバイスが、中空内側部と、前記食物の塊のコアを抜くように構成されている遠位端部及び吸引源と連結されて前記コアを取り除くように構成されている近位端部と、を有する、カテーテルチューブを含む、デバイス。

【請求項 2】

前記カテーテルチューブが前記食道内の前記食物の塊に送達されるときに、前記カテーテルチューブが可撓性又は湾曲可能である、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 3】

前記カテーテルチューブが中を通して前記食道内の前記食物の塊まで延在している内側部を画定している内視鏡を更に含む、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 4】

前記中空内側部の内部に位置付けられたスタイレットを更に含み、前記スタイレットが前記カテーテルチューブの中へ及び外へ前進させられるように構成されている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記カテーテルチューブが、より大きい直径の近位部分と、より小さい直径の前記遠位端部と、を含む、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記カテーテルチューブの前記中空内側部の表面が、低摩擦材料でコーティングされている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 7】

前記カテーテルチューブの前記遠位端部が、前記食物の塊を複数回コア抜きするように構成されており、前記食物の塊のコアが、前記カテーテルチューブを通して前記食道の外に吸引されるように寸法が決定されている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 8】

体内の閉塞を取り除くように構成されているデバイスであって、前記デバイスは、中空内側部と、前記閉塞のコアを抜くように構成されている遠位端部と、を有する、チューブを含み、

前記チューブが、吸引源と連結されて前記コアを取り除くように構成されている、デバイス。

【請求項 9】

前記チューブが、食道内に配置されて食物の塊を前記閉塞として除去するように構成されている、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 10】

前記チューブが、肺内に配置されて食物の塊又は粘液を前記閉塞として除去するように構成されている、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 11】

前記チューブが前記食道内の前記食物の塊に送達されるときに、前記チューブが可撓性又は湾曲可能である、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 12】

前記チューブが中を通して前記食道内の前記食物の塊まで延在している内側部を画定している内視鏡を更に含む、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 13】

前記中空内側部の内部に位置付けられたスタイレットを更に含み、前記スタイレットが前記チューブの中へ及び外へ前進させられるように構成されている、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 14】

前記チューブが、より大きい直径の近位部分と、より小さい直径の前記遠位端部と、を含む、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 15】

前記カテーテルチューブの前記中空内側部の表面が、低摩擦材料でコーティングされている、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 16】

前記チューブの前記遠位端部が、前記閉塞を複数回コア抜きするように構成されており、前記閉塞のコアが、前記チューブを通して吸引されるように寸法が決定されている、請求項 8 に記載のデバイス。

|           |                                                                                          |         |            |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------|
| 专利名称(译)   | <无法获取翻译>                                                                                 |         |            |
| 公开(公告)号   | <a href="#">JP2018537249A5</a>                                                           | 公开(公告)日 | 2020-01-09 |
| 申请号       | JP2018547254                                                                             | 申请日     | 2016-11-21 |
| [标]发明人    | ロバートエイガンツ<br>マークアンダーズライデル                                                                |         |            |
| 发明人       | ロバート エイ ガンツ<br>マーク アンダーズ ライデル                                                            |         |            |
| IPC分类号    | A61B17/00                                                                                |         |            |
| CPC分类号    | A61B17/50 A61B17/22 A61B17/32053 A61B2017/00818 A61B2017/22079 A61B2217/005 A61B2218/007 |         |            |
| FI分类号     | A61B17/00                                                                                |         |            |
| F-TERM分类号 | 4C160/MM43                                                                               |         |            |
| 代理人(译)    | 杉村健二                                                                                     |         |            |
| 优先权       | 62/260873 2015-11-30 US                                                                  |         |            |
| 其他公开文献    | JP2018537249A                                                                            |         |            |

#### 摘要(译)

该装置被配置成去除食道中的一团压制食物，并且该装置与中空内部部分连接，该端部构造造成抽出食物块的核心和抽吸源。并且近端配置为移除核心。